

## 令和5年度 第1回山ノ内町行政改革推進委員会 議事要旨

### ○開催日時・場所・出席者・傍聴者

開催日時 令和5年8月29日(火) 午後3時から午後4時48分まで  
場 所 町文化センター2階 学習室  
出席者 下記のとおり  
傍聴者 1名

### ○協議事項(議事要旨)

#### 1 開 会

- ・役職交代の委員に対し、本日から令和6年3月31日までの任期として委嘱させていただく旨説明。

#### 2 あいさつ 古幡総務課長(町長公務欠席、副町長急務欠席のため) 佐々木会長

#### 3 自己紹介

#### 4 会議事項

- ・行政改革推進委員会設置条例第6条により、会長が議長となり議事の進行を行う。

#### (1) 第7次山ノ内町行政改革大綱実施計画 令和4年度取組結果について

- ・事務局より第7次山ノ内町行政改革大綱について説明。  
7次大綱は令和4年度から令和8年度までの5年間の行政改革を進めるための計画であり、この計画推進のため、年度ごとに取り組む40項目の実施計画を策定し、進捗状況を確認した旨説明。
- ・次に第7次行政改革大綱実施計画取組項目一覧表を説明。  
行政改革大綱の40項目の実施計画について、令和4年度の取組結果欄に●＝実施済み △＝一部実施 ×＝未実施で結果を表している。また、年度別目標欄には、具体的な目標数値と実績を記している。
- ・40項目すべての説明は時間がかかるため、主なものを抜粋して説明。

#### <質疑等>

##### 委員

マイナンバーカードの普及が進んでいるが、人口割合はどのくらいか。  
また、報道などで保険証との連携デメリットなどが取り上げられているが、メリットをPRしたらどうか。

##### 事務局

普及実績を町の人口で割り返すと6,625/11,385(8月1日現在)で58.2%となる。利用価値をPRしていきたい。

##### 委員

財政指標などはもう少しわかりやすいものはないか。例えば歳入歳出のバランスシートのようなものなど。

##### 事務局

毎年決算の時期には広報誌にて円グラフなどとして掲載している。工夫できると

ころは対応したい。

会長

ふるさと基金の「夢・わんぱく応援貨」の使途の内容はどのようなものか。

事務局

子育て・教育に関することに使用している。

(2) 令和4年度事務事業評価の結果について

(3) 令和3年度事務事業評価（令和4年度取組み状況）について

・事務局より説明。

事務事業評価については、7次行政改革大綱で、1年に約60事業を評価していくこととなっており、4年度においては、50の事務事業を評価した。

・庁内で組織する行政改革推進本部（幹事会）にて、4年度に評価する事務事業を決定し、その後担当係長が係の意見を聞きながら一次評価を行うが、事業の必要性、有効性、効率性、公平性、そしてこれらを踏まえた総合評価の観点からA・B・C・Dの評価を実施した。（Aは問題なし。Bはほぼ問題なし。Cは多少見直す余地あり。Dは見直す必要あり）

・事務を担当する係長の一次評価の後、庁内の行政改革推進本部幹事会において、担当係長から直接事務事業の内容をヒアリングし、客観的な目で二次評価を行った。50事業のうち、Aが44件、Bが2件、Cが2件、Dが2件であった。総合でB・C・D評価となった6事業について説明。

・また、3年度事務事業評価取組状況については、B・C・D評価であった10事業の取組み状況を報告。

<質疑等>

委員

「景観整備促進事業」関連として、歩道の草など伸び放題で大変景観が悪い。それぞれの地区で管理するのであれば補助制度などないか。

事務局

国県道、町道などそれぞれの道路管理者対応となると判断する。

委員

道路管理者まで声が届くようなシステム作りを要望したい。

委員

道路管理者側での予算のかけ方にも差があるようだ。状況写真などを添付して、区などの組織で提案しないとなかなか通らないのが現状だ。

事務局

ここにある景観整備促進事業は、そのようなことをやってくれる方との協定を目指しているが、参加団体の増加も見込めない状況にある。補助制度の周知を図りたい。

委員

「教員住宅維持管理事業」関連として、教員住宅をリフォームして若者定住などに再利用できないか。

事務局

教員住宅は経過年数が古く、リフォームで対応不可な部分もある。また、老朽化が激しい建物については個別施設計画の削減対象としているため、難しい部分がある。

委員

「文化センター借地料」関連として、文化センターに限らず上林グラウンドなども購入を進め全体の経費節減を図ったほうがよい。

事務局

上林グラウンドなどは所有者も多く、難しい部分も多いが、検討を進めたい。

(4) その他

<委員より>

委員

町内で空き家が増えてきた。また廃ホテルなどもありイメージが悪い。

解体の制度などはあるか。

事務局

解体費用の補助制度だけでは進んでいかない。後利用の制度なども必要。

5 その他

委員

小学校統合について、子どもも少ない状況にある。新町長の方針に期待したい。

委員

夏まつりでは若い人が多く参加され、町が変わるイメージがあった。とても楽しかったとの意見も聞く。来年以降も期待し、町からの盛り上げを望む。

事務局

実行委員会にて方向を検討したい。

委員

防災において、要介護者名簿の作成について区・町などでそれぞれ違う情報となっており、町で統一してほしい。

また、区に属していない人なども町で把握してほしい。

事務局

個人情報なども考慮したうえで同意などを得て進めたい。

委員

若者が集まるために、若者を中心とした行政改革を望む。補助制度などもよりよくされたい。

事務局

定住、起業支援など制度がある。活用されたい。

6 閉 会

○出席者 会長 佐々木 正明 (町長推薦)  
塚田 一男 (山ノ内町議会 総務産業常任委員長)  
鈴木 幸男 (山ノ内町区長会代表)  
湯本 和幸 (山ノ内町民生児童委員協議会代表)  
望月 美知子 (山ノ内町農業委員)  
藤澤 光男 (山ノ内町観光連盟常務理事)  
佐藤 匡則 (山ノ内町商工会副会長)  
高木 美佐子 (山ノ内町保健補導員会)  
畔上 元弘 (町長推薦)

欠席者 下田 安子 (町長推薦)  
山本 たみ子 (町長推薦)  
上原 仁 (山ノ内町農業委員会会長代理)  
竹節 行則 (町長推薦)

町 長 平澤 岳 (公務欠席)  
副町長 久保田 敦 (急務欠席)  
(事務局) 総務課長 古幡 哲也  
財政係長 湯本 豊  
財政係 黒鳥 直樹